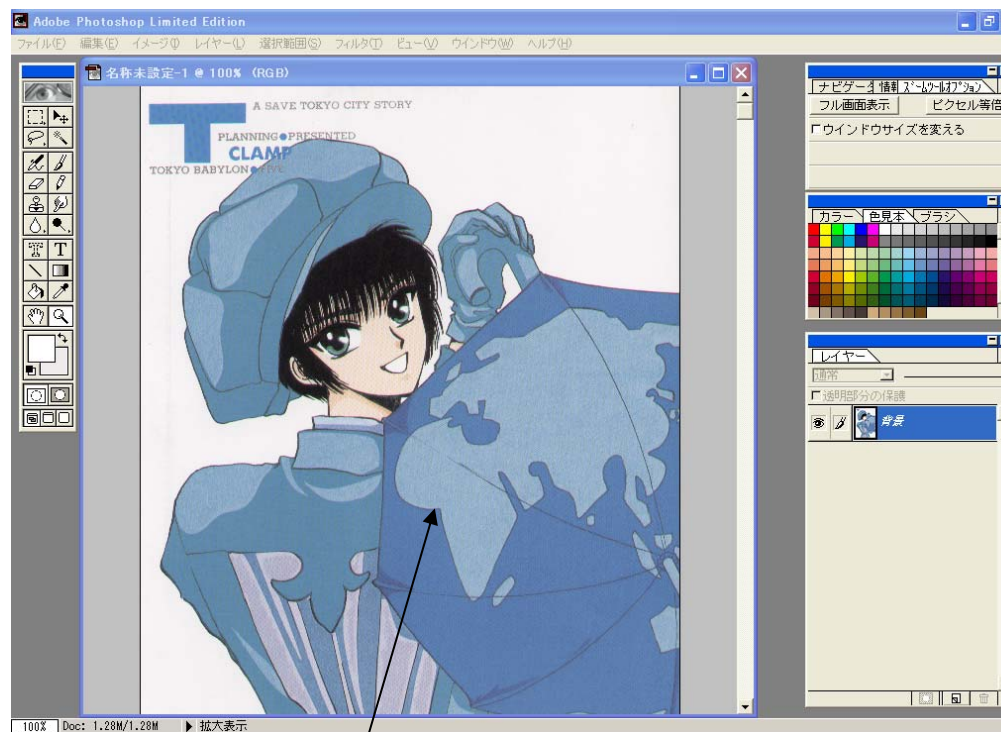


スキャナのTWAINドライバから出力される画像品位は、毎回違います。

Mustek ScanExpress A3 USBに限らず、スキャナのドライバから出力される画像品位は、毎回違います。初期状態(ドライバの初期値)でスキャンした結果に満足できる場合は、そのデータを使う事ができますが、多くは満足できる品位でデータが出力されません。

これは相当な高級機のスキャナ(100万円以上の業務用機種)でも全く同じことで、スキャナドライバでの調節、または取り込んだ画像をレタッチソフトウェアで修正することが絶対に必要になります。そのため、スキャナの低価格化、デジタルカメラの普及により、レタッチソフトが隆盛を極めています。特に、米国アドビ社など、高額なレタッチソフトウェアで有名です。

具体的例でご説明いたします。



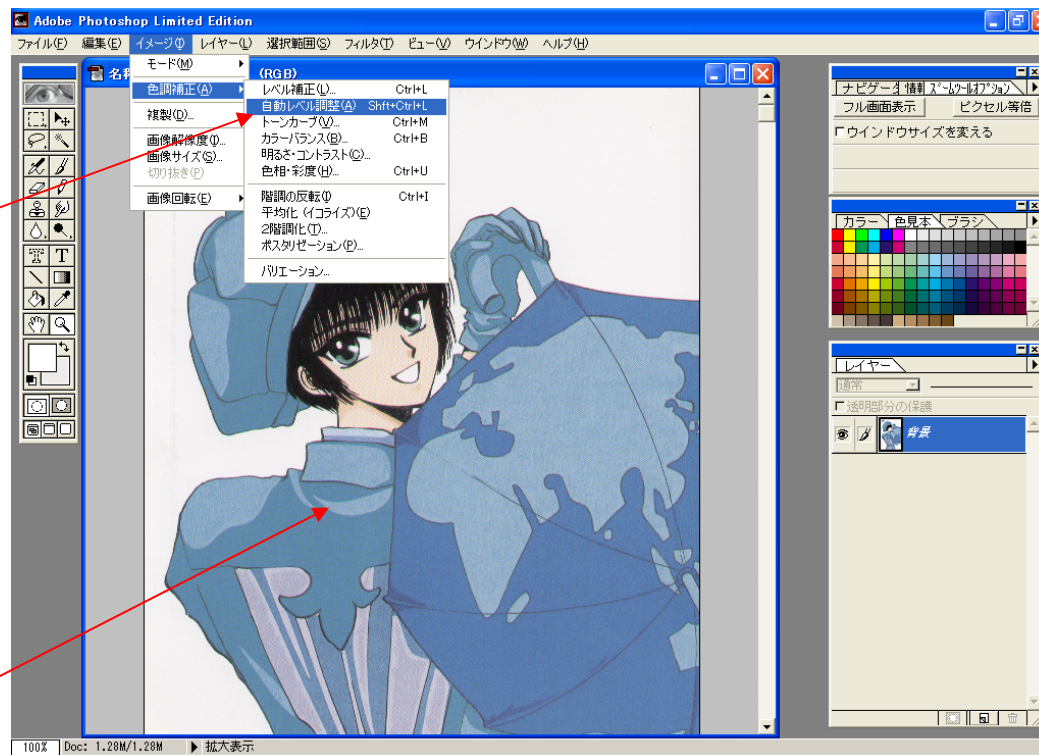
サンプル画像には、CLAMP氏原作「東京BABYLON」(新書館様発行)のイラストを使用しております。

オリジナルのイラストをデジカメで撮影した物です。フラッシュなどを使わず完全に自然露出で撮影しましたので、現物に「かなり近い色合い」です。顔の色も「肌色」が出てます。しかし、目で見る本物のイラストの色とは、やはり違います。

Mustek ScanExpress A3 USBを使用して、左のイラストをAdobe Photoshop LEに取り込んでみました。TWAINドライバは、全く調整せず初期値の状態です。色合いが淡くなっています。しかも、服装の色が「ブルー」になっています。現物のオリジナルイラストはパステルのグリーンとブルーの中間色です。少年の顔の肌色も“ピンクっぼく”なっています。

一番、手っ取り早いのは、レタッチソフトの「自動レベル調整」を使用することです。

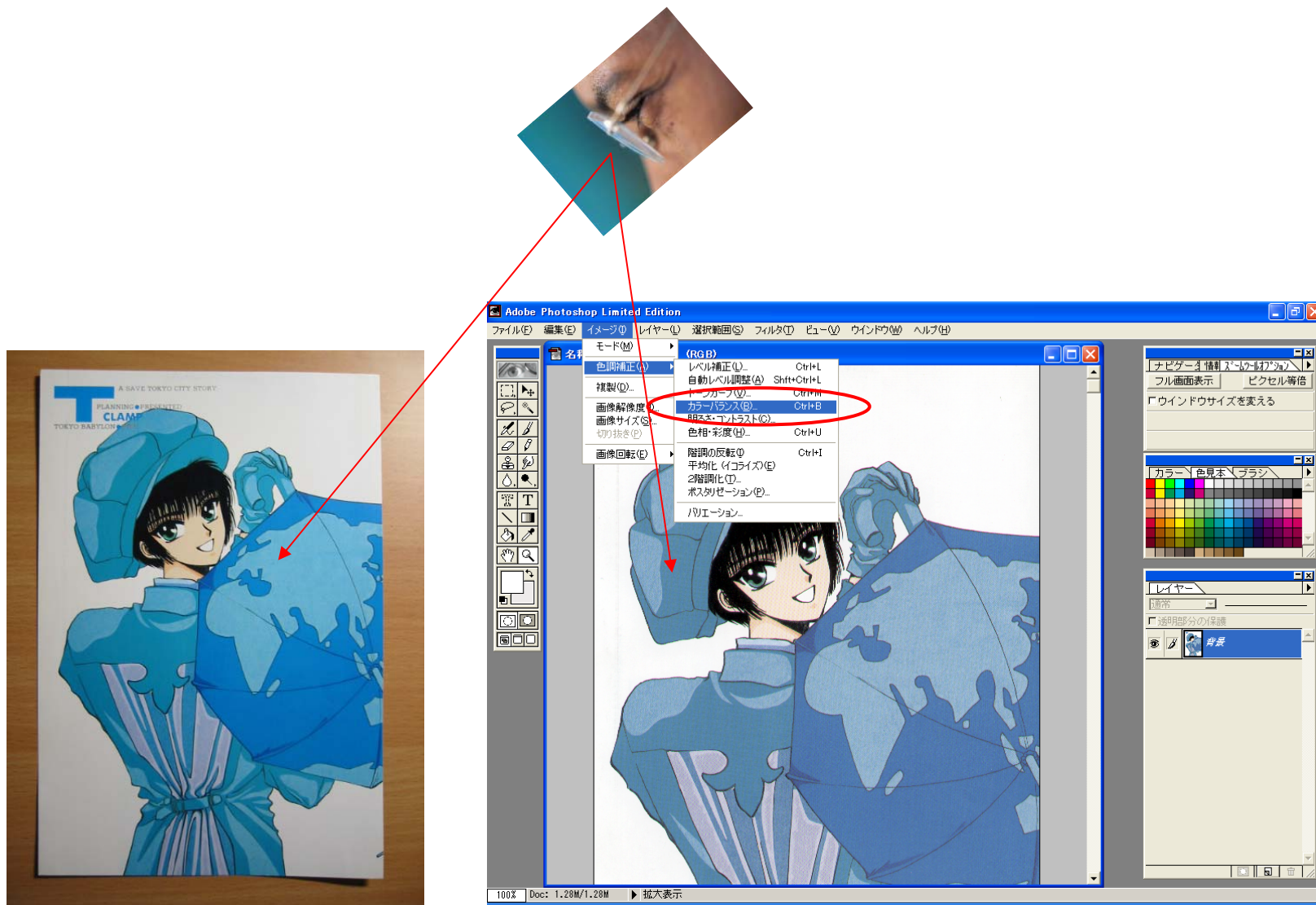
Adobe Photosop LEであれば、ココで、自動調整できます。



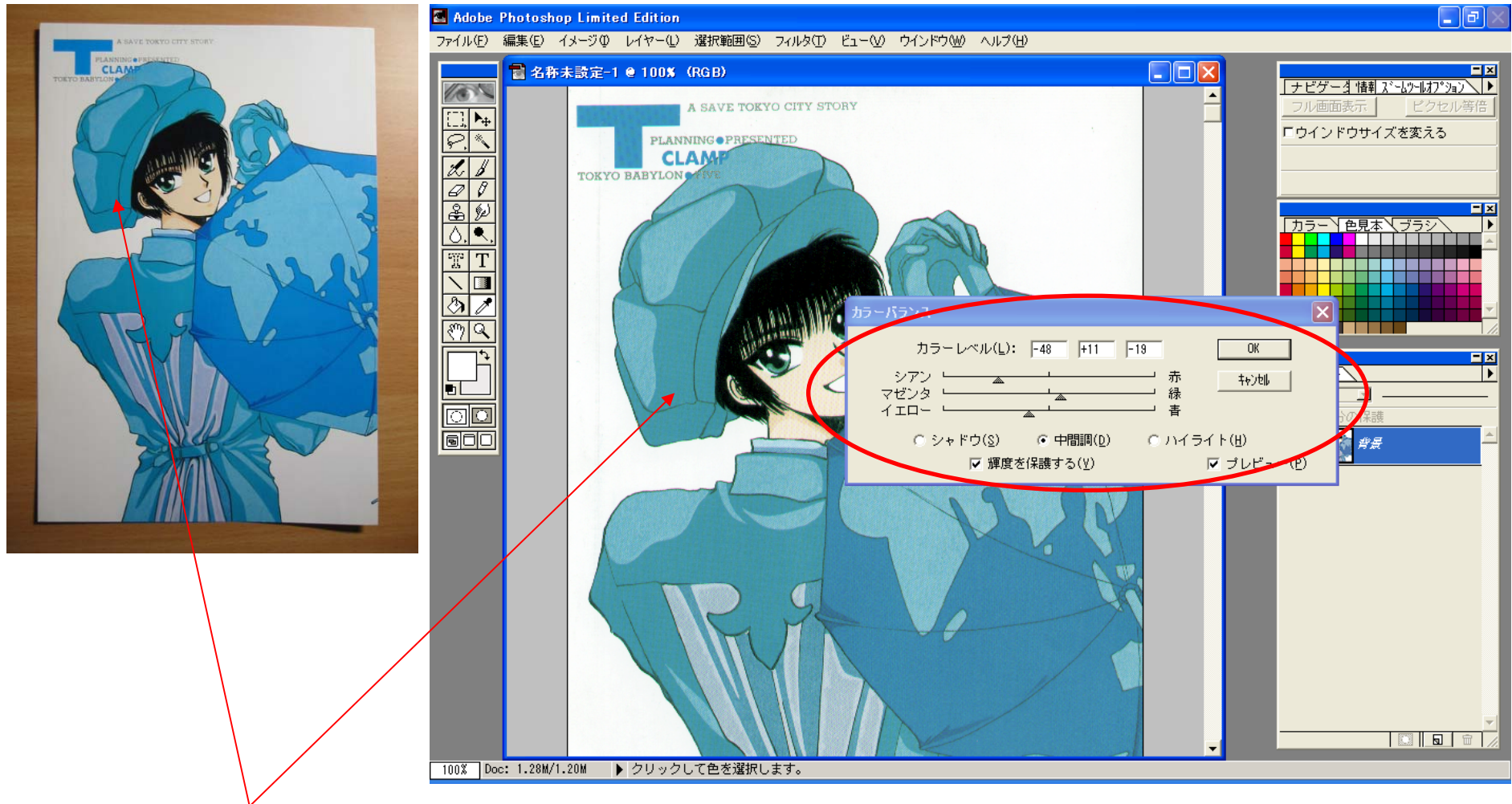
サンプル画像には、CLAMP氏原作「東京BABYLON」(新書館様発行)のイラストを使用しております。

でも、やっぱり「色が違います」自動レベル調整では、本物の色をソフトウェアが知っているわけではないので、調整するにも、限界があります。もしも、ドンピシャの色合いが出たら、むしろ驚きです。私は、そのような理由から、まず「自動調整」は使用しません。

今度は、自分で「現物のオリジナルの色を見ながら、カラーバランスを調整してみます。」



カラーを構成する光の3原色を調整して、現物のイラストのカラーに合わせます。



かなり、本物のイラストのカラーに近い色合いになりました。これなら、使えそうです。

スキャナでスキャンする原稿が全く同じ物であっても、スキャンする度に、微妙にカラーが違っていたり、大幅に違うことは、普通です。

これは、高級機スキャナであっても、低価格スキャナであっても同じことが言えます。

スキャナから出力されるカラー画像だけではなく、その画像を見るモニター(種類＝液晶かブラウン管か、どこのメーカーの、どの型式のものか？等)によってもカラーが微妙に異なることや、大幅に異なることがあります。

印刷会社などでは、見る人ごとにカラーバランスがまちまちになると困るので、モニター、スキャナの「キャリブレーション(色合いを数値的に調整する機能のあるモニタを使用して、スキャナ出力画像に合わせる作業です)」を行って、その都度調整しています。

一度調整しても、連続スキャンすると、必ずバランスが崩れてきます。

スキャナの温度が上昇したり、スキャンランプの発色温度(光の温度)が微妙に違ってくるためです。

また、スキャン作業に関しては、印刷会社では「スキャナ・オペレーター」というスキャン調整・作業の専門の職人さんがいるくらい、本物の原稿とスキャンした画像データとの整合性をとることは難しいです。

なぜなら、スキャナの調整を自動で行っている限り、スキャナのセンサー信号からの情報でソフトウェアが「これくらいかな？」という“サジ加減”で出力しているためです。その“サジ加減”もスキャナメーカーのドライバ開発者のセンスに大きく左右されます。

スキャナドライバの「自動カラー補正」の場合、「勘」で出力しているだけなので、本物の原稿を目で見ている人間に満足できるカラー画像を出力することは相当に困難です。

スキャナドライバの自動機能を使って、そのままスキャンした画像が「本物の色合い」そっくりということは、まずありません。

本物の色合いに近づける為には、必ずスキャナのTWINドライバの調整をおこなったり、またはスキャンした画像をレタッチソフトウェアで修正する作業が必要になります。

運良く、偶然にちょうど良い色合いが出る場合もあります。しかし、弊社では毎日スキャンサービスのお仕事をさせていただいておりますが、ちょうど良い色合いが、スキャナドライバの自動機能から出てくることは99%なく、かならずドライバの調整を行っております。

Mustek ScanExpress A3 USB は低価格スキャナですので、ドライバ側で大幅に調整すると、かえって画像が荒れる原因になりますので、レタッチソフトウェアを使用して調整することが一番よろしいかと存じ上げます。

どこをどう調整すればいいのか？というご質問が出そうですが、カラーバランス、カラーマネジメントに関しての、専門学校や美術大学・芸術大学、画像処理の光学系工学部の大学・学部、大学院があるくらいですので、一言でのアドバイスは無理です。

使用するレタッチソフトウェアの種類にも癖がありますし、またスキャンする原稿の状態などで、調整する箇所はそのたびごとにちがいます。こればかりは、いろいろとお試しいただくしか方法は御座いません。むしろ、高級機になる程、調整作業は難しいです。